

(5) 会派代表 公明党

質問者議員 三 島 克 則

件名1 コロナ対策について。

要旨1 これまでの新型コロナウイルスワクチン接種状況は。

要旨2 国立精神・神経医療研究センターなどの全国調査によると、新型コロナウイルスワクチン接種を受けたくないと考えている人が全体の約11%を占め、特に若い世代で接種を敬遠する割合が高くなっている。若い世代に対して、有効性や安全性に関する正確な情報を伝えることが大切であるが、若い世代が多く利用する会員制交流サイト（SNS）で流れる噂には、科学的根拠に基づかないウソやデマが含まれる場合もあり、その噂を信じてしまい接種に不安を抱く方がいる。新型コロナウイルスワクチン接種について正しい知識と情報、そして周知方法で不安を取り除き、ワクチン接種について前向きに考えてもらえるのか。当局の見解は。

要旨3 コロナが収束するまでの間、地域の経済を活性化させるため、これまで2回実施してきたキャッシュレス決済還元事業の定期的な開催の継続化について問う。

件名2 アフターコロナに向けた戦略を見出せ。

要旨1 道の駅「奥河内くろまろの郷」の新規顧客とリピーター顧客の獲得を目的とした独自性溢れる事業の展開について問う。

要旨2 令和元年度「中世に出逢えるまち」、令和2年度「女性とともに今に息づく女人高野」「葛城修験」の3つの日本遺産が認定された。これらをフルに活用した実効性ある施策展開について問う。

要旨3 南海河内長野、千代田、三日市町の駅構内で本年7月2日から映画「鬼ガール！！」の挿入歌のメロディを用いた「日本遺産のまち 河内長野」の観光PR放送が来年3月末まで放送される。観光PR放送終了後、このメロディを用いた新たな展開でレガシーを創出した聖地化を図れ。

件名3 安心安全なまちづくりについて。

- 要旨1 ペット防災に関して、本市はいち早くペット同行避難を理解し示している。災害時に備えて準備していくには、飼い主によるペットのしつけや、ペットの避難物資、ペット同行避難の周知等、ペットを飼っている人だけでなく、ペットを飼っていない人たちへ広く周知することが大切であると考え。本市として今後のペット防災を周知、進展させていくための考えを問う。
- 要旨2 東日本大震災を受けて国連防災世界会議が2015年に仙台で開催され、インクルーシブ防災が提唱された。障がいのある人をはじめ、とくに配慮が必要な人たちに対し、防災減災を考える取り組みの個別計画作成が努力義務とされている。この計画を作成するにあたり、防災や災害に関する情報を読み解く力の防災リテラシー。避難行動を事前にいつ何をするのか時系列を決めておくタイムライン。いざ避難するとき、隣近所や地域の人たちのサポートが重要となるため、地域の調整や避難訓練が柱として挙げられる。災害時、障がいのある方や高齢者に被害がでないこと、そして当事者の誰一人、地域の誰一人、社会の誰一人も取り残さないインクルーシブ防災について問う。
- 要旨3 令和元年9月の一般質問において、事業継続計画（BCP）の再質問で各部署に問いました。その後の進捗状況は。
- 要旨4 全国各地において近年7月の梅雨末期や本年8月の前線における豪雨や長雨の影響により発生している洪水や土砂災害、また大型で強い勢力を保った台風が猛威を振るっている。梅雨末期の線状降水帯や台風による豪雨といった本市の気象防災の現状と課題は。
- 要旨5 電源を必要とする医療的ケアの方に、災害時における電源の確保は喫緊の課題であり解決に向けた取り組みが必要である。見解を問う。
- 要旨6 本年6月、小学生の列にトラックが突っ込み、5人が死傷した八街市通学路飲酒運転死傷事故を受けて、文部科学省、国土交通省とともに通学路の合同点検を実施することを警視庁が7月9日、全国の警察に通達した。その結果、9月末をめどとして教育委員会、学校が主体となり地元警察と道

路管理者とが連携して、通学路における合同点検が実施されることになり、そこに子どもの視点を取り入れる必要性があると考え。今回の合同点検等実施要領には、「在校児童から得られた情報を活用する」との文言が記載されている。あわせて、学校での事件・事故から子どもたちを守るための「セーフティプロモーションスクール（SPS）」は、石仏小学校が本年1月18日に申込を行っている。全小学校にもセーフティプロモーションスクール認証制度を推進し、本気で通学路の安全確保をするべきであると考え、本市の見解を問う。

件名4 人口流出を防ぐため、子育て世帯等の人を呼び込むための住みよい環境を。

要旨1 18歳までの入院通院の子ども医療費助成制度の拡充を。

要旨2 南花台スーパーシティ構想を市全体に展開するビジョンについて問う。

要旨3 SDGsの理念を主とした企業はじめ住民主体となった課題解決型のまちづくりの構築について問う。

要旨4 東京2020オリンピックでメダリストを多く輩出し活躍した競技スケートボード。これまで若い世代でスケートボード競技人口が増加していたが更なる競技人口が増加すると予測される。しかし、本市においてスケートボードを利用できる場所がない。気軽に安心して利用できるスケートボードパークの整備が必要と考えられるが見解を問う。

要旨5 上原・高向地区のまちづくりで広域集客型商業施設地区の土地利用方針とあるが、従来の商業施設型（いわゆるモール）ではなくアミューズメントと融合した商業施設を展開すべきと考えるが見解は。

要旨6 市民の移動手段であるバス路線維持のために。

(1) 運賃補助事業の実施で高齢者などの方へのお出かけ支援の充実を。

(2) 中山間地の営農等、販路のための新たな戦略として貨客混載事業の導入を。

件名5 教育立市に相応しい共生社会の形成と環境の整備について。

要旨1 障害者の権利に関する条約第24条には「障害者を包容するあらゆる段階

の教育制度（an inclusive education system）及び生涯学習を確保する。」とある。インクルーシブ教育システムとは、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが共に教育を受ける、共生社会の実現を目指すとしている。このインクルーシブ教育について見解を問う。

要旨 2 医療的ケア児に安心して通学してもらうためには、たんの吸引や人工呼吸器など日常的に介助する「学校看護師」の確保が必要である。安定的な学校看護師を確保するための現状と課題は。

件名 6 市民サービス向上への施策展開や職員の資質向上及び庁舎等、市が所有する公共施設管理について。

要旨 1 ご遺族相談窓口の現状と更なる前進に向けた施策展開について問う。

要旨 2 言葉一つで職員のやる気を引き出す資質向上について問う。

要旨 3 停電時のエレベーター閉じ込めに対して非常時訓練の実施を。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者